

ふるさとを守ろう私たちの手で

1. 動機と背景

隠岐には、独自の生態系や大地の成り立ちのおかげで南方系と北方系の植物が共存していたり、固有種がいたりするが、これらの植物が絶滅の危機に瀕している。その原因の一つに外来種の増加がある。そのため、特定外来生物であるオオキンケイギクについて調査した。

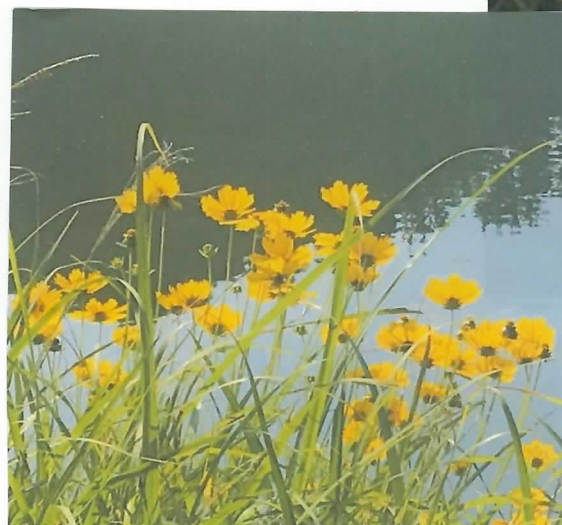
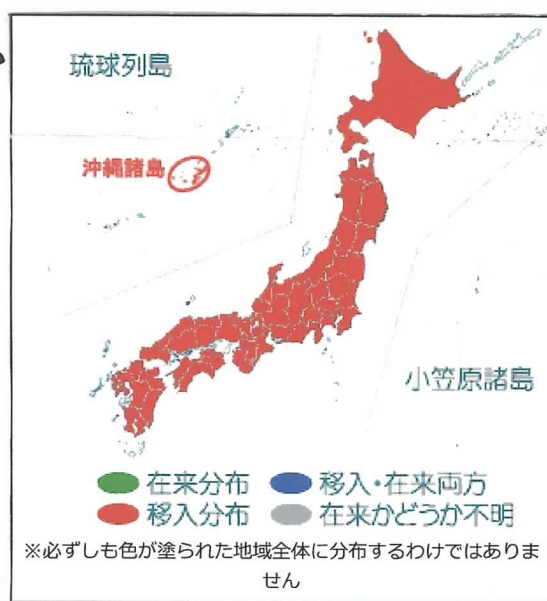
2. 現状

侵入経路 → 1880年代に 観賞用・緑化用として導入

除去方法 → 根から抜取る

分布図 →

(国立環境研究所ホームページより)



アンケート結果 → ジオパークに興味がある人は5割弱。

(H29年度 隠岐高
1年生73人、2年生79人)

オオキンケイギクを知らない人が約7割。知っているとは約3割のうち外来種であることも知っている人は5割強。

⇒ 特定外来生物のオオキンケイギクを知るきっかけがない

3. 原簿い

自分たちが住む地域のオオキンケイギクの特徴や除去方法について楽しく学んでもらいたい。

4. 取り組み

▷ 6月4日から6月6日までの3日間、環境省の方が行っていたオオキンケイギクの抜き取り作業に参加

- 1日目は、オオキンケイギクの花を探して抜き取り
- 2日目以降は、花を前日抜き取ったため、なくなり、葉や茎の部分を見分けて抜き取り



↑ 環境省の方と抜き取り作業

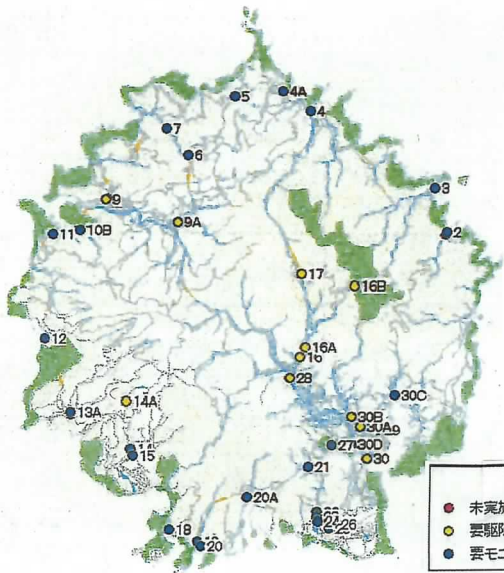
↑ オオキンケイギクの葉

↑ 飛ばないように袋に入れる

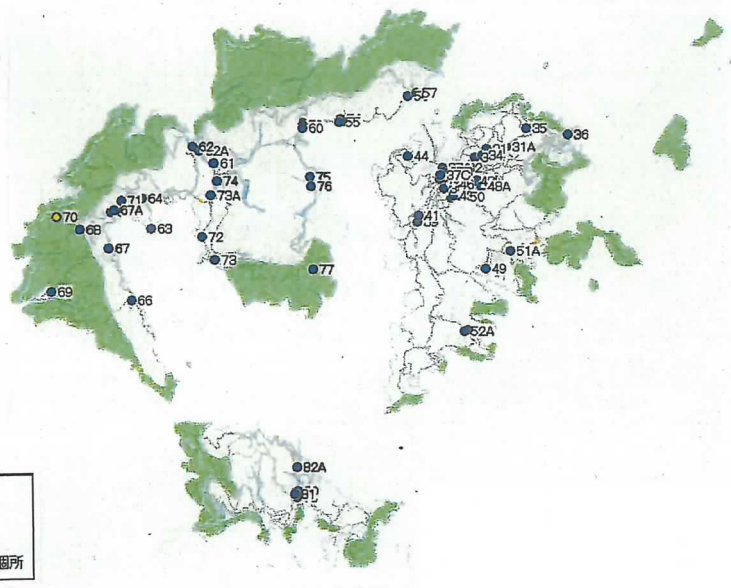
- 抜き取った花と葉をスケッチ

- 隠岐の島町のオオキンケイギクの分布図

〈島後〉



〈島前〉



凡例
● 未実施: 駆除を実施していない箇所
○ 要駆除: 駆除が完了していない箇所
● 要モニタリング: 駆除が完了し監視が必要な箇所

□ 気付いたこと □

- 似たような葉が多いので茎をよく見て、見分けることが大事

- 根が切れやすいため、慎重に抜くこと。

⇒ この時、抜き取った花、葉をしおりに使用

▷しおりの作成

楽しく学ぶって? ⇒ 授業以外でふとした時に知れる!

頻繁に見れる!



しおり作成!!



手順

花・葉を集める → 押し花にする

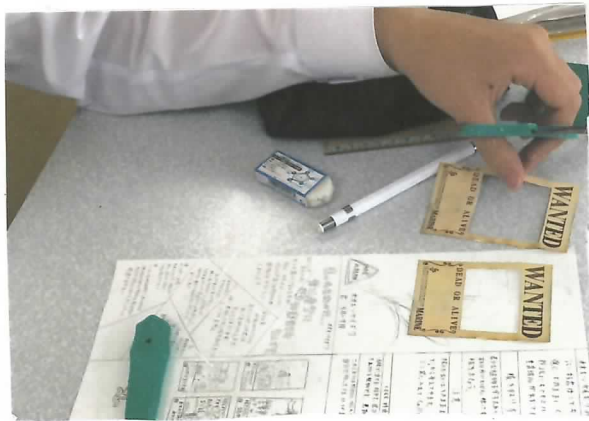


花は厚みがあり断念。写真を代用

表と裏に説明書き

台紙を作る

ラミネートする
↓
完成

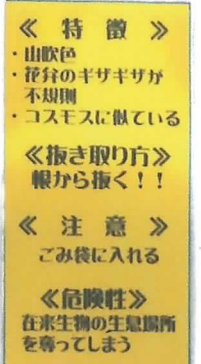


※最後に環境省の方がチェック

工夫点

花用

- 色見本に実際の花弁を使用
- 花が咲く季節も書いた。



葉用

- 実際抜くときの参考になるよう本物の葉が見えるようにした。



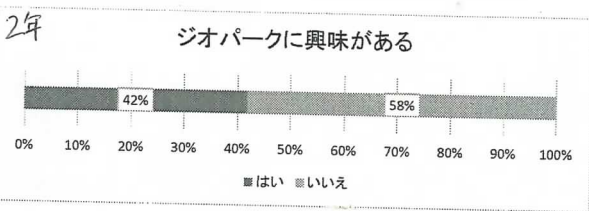
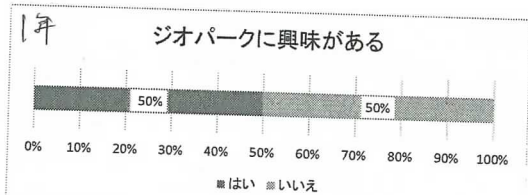
⇒このしおりを隠岐自然館、町立図書館に設置した。
(設置期間は8/24 ~ 9/7までの2週間)



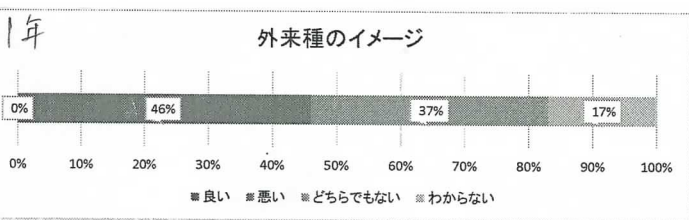
5. 今後の予定

隠岐自然館、町立図書館にしおりを設置して感想をまとめ、報告。

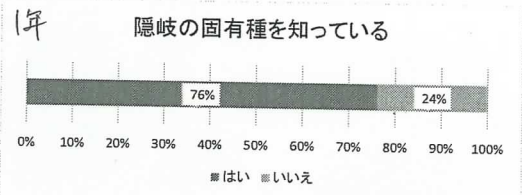
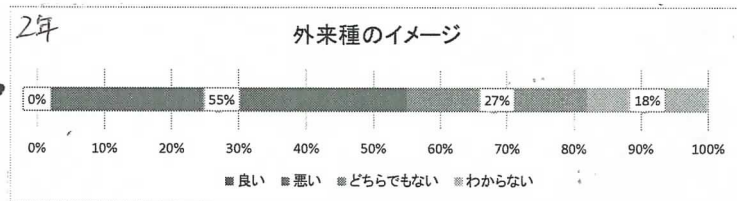
アンケート結果



2年生は1度ジオパーク研究をしているが、今取り組んでいる1年生の方が興味のある人が少し多かった。

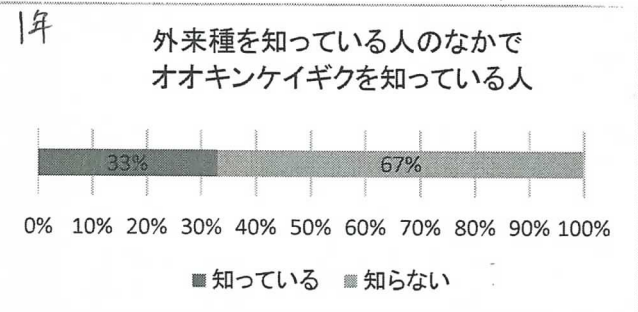
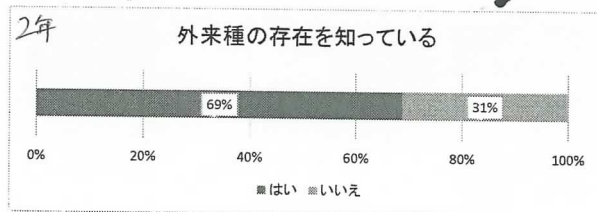
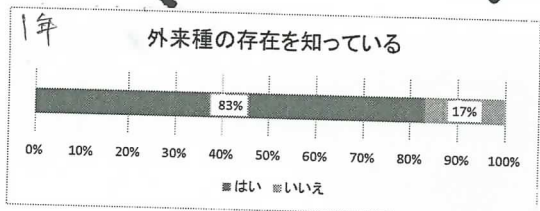
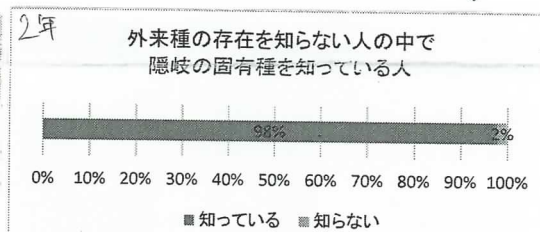
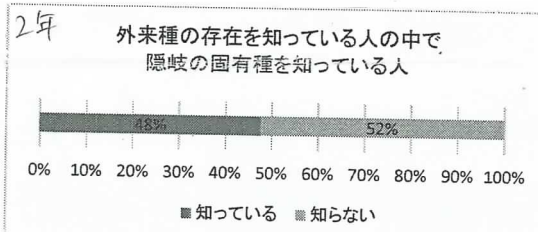
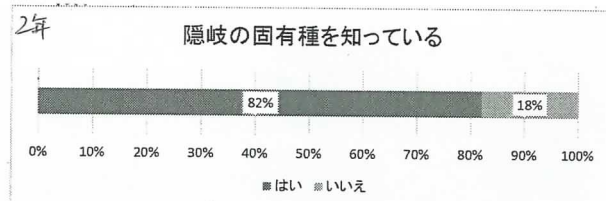
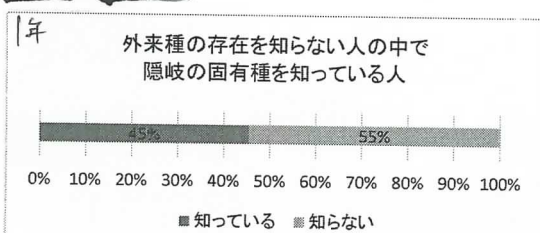
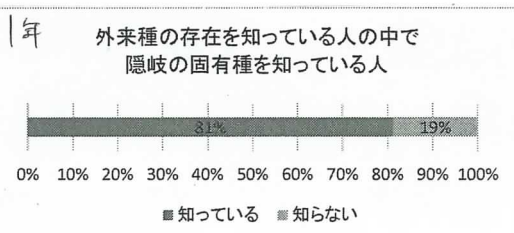


中には帰化種という植物もあり、害のある植物ばかりではない。

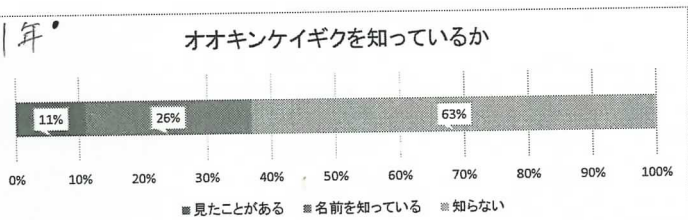
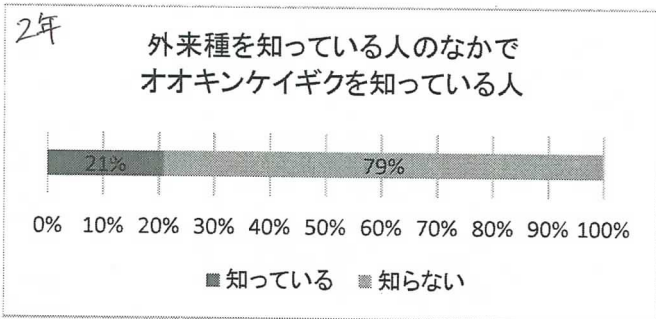


外来種を知っている人の方が、隠岐の固有種を知っている割合が高い。

外来種は知ってなくても、隠岐の固有種を知っている人は8割以上いる。



外来種は知っていても、オオキンケイギクについて知っている人は、1、2年生を通じて、2割~3割の人だけだった。



オオキンケイギクを知っている人のうち、1、2年生を通じて5割以上の人「外来種だ」ということも知っていた。

